

魂に触れる宗教とは — 苦悩する世界の希望をたずねて

本会は特定の宗教や政治的信条を宣揚するものではありません。生と死の多様なありかたは、何よりも個人の自由を要請するものだからです。

ところで、人間の自由は、そのありかたが諸々の不安や束縛や隷属から解放されることが必要で、歴史的に見ると、諸宗教の大きな役割はそこにありました。

今年度、本講座では人間の救いや解脱を探求した先人の魂の旅路をたずねてみます。

2025年 講座内容 全6回 19時-20時30分 各回定員30名

1月20日(月) インド哲学の起源と人間の生死

森本万記子氏(ヨガ講師)

1月27日(月) マザー・テレサの愛と実践

加藤美紀氏(仙台白百合女子大学学長)

2月3日(月) 仏典の底流と人間—『維摩経』との出会いを通じて

西野翠氏(大正大学総合佛教研究所研究員)

2月17日(月) 源氏物語に見る宗教性—初瀬詣をとおして

倉持長子氏(国士舘大学講師)

3月3日(月) 死が贈りものになるとき

-亡きわが子から届けられた『生きる意味』の言霊

織田淳太郎氏(ノンフィクション作家)

3月10日(月) 生死と芸術の接点—仏教的な視点を含めて

小倉信一氏(画家・僧侶)

参加料：各回 一般 2,000円 会員・学生 1,500円
6回通し 一般 11,000円 会員・学生 8,000円

お支払方法：クレジットカード決済又は銀行振込

申込方法：QRコードを読み取り、申込フォーム入力送信して下さい。

又はホームページよりお申込み下さい。

(ご入金後の返金はありませんので、ご了承ください。)



お問い合わせ

<http://www.seitosi.org/>

Mail: koenkaiseitosi@gmail.com

Tel: 03-5577-3935(火・金午後) Fax: 03-5577-3934

主催：NPO法人・生と死を考える会